

# 笑顔あふれる元気な胆振を実現!

北海道議会議員(胆振地域)

# 戸田 安彦

と だ や す ひ こ

### ごあいさつ

胆振地域の皆さまの温かいご理解と力強いご協力により、道政の舞台に押し上げていただき、深く感謝申し上げます。コロナ禍や物価高騰などの影響を受けている観光業・一次産業をはじめとする経済の復活、胆振東部地震からの復興と防災・減災体制の強化など、山積する地域課題を解決に導くため、地域の皆さまお一人お一人の力を原動力に、胆振・北海道の新時代を創出する「攻守創新」に全力で取り組む決意です。

国際情勢が不透明感を増す中、日本そして北海道は大きな時代の転換期に直面しています。この難局を乗り越え、明るい未来を切り拓くために、北海道経済を力強くけん引してきた胆振の地域力をさらに高めることが重要です。活力ある地域には、人の笑顔があふれています。私の政治信条である「まちづくりの原動力となるのは、そこに住む『人』である」との想いを胸に刻み、「笑顔あふれる元気な胆振」の実現を目指して力を尽くしてまいります。

皆さまのさらなるお力添えをよろしくお願い申し上げます。

## 北海道議会議員 戸田 安彦

# 「攻守創新」

## 道政だより

令和5年11月1日(水)発行

### 戸田安彦プロフィール

- 昭和44年1月7日、白老町生まれ
- 札幌大学経営学科を卒業後、民間会社を経て、平成23年より白老町長(3期)
- 令和5年4月、道議初当選。現在、道議会議会運営委員、同文教常任委員、同人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員
- 趣味・特技/読書、ゴルフ、サッカー
- 尊敬する人物/西郷隆盛、橋本聖子
- 座右の銘/一人はみんなのために、みんなは一人のために

## 第3回定例道議会で補正予算395億円を可決

# 道産水産物の消費拡大や電気料金高騰対策など



第3回定例道議会在9月12日から10月6日まで開かれ、一般会計に総額395億6,300万円を追加する補正予算案について審議し、可決しました。中国による日本産水産物の禁輸の影響を受けている道産水産物の消費拡大に向けた取り組みを支援するため、8,800万円が計上されたほか、電気料金高騰の影響を受けている特別高圧電力を利用する中小・小規模事業者の支援として4億9,600万円などが盛り込まれました。

このほか、「ALPS処理水の海洋放出に伴う影響への確実な対応を求める意見書」や小中学校や公立幼稚園に空調設備を設置する際の補助額の引き上げを国に求める「子ども関連施設の暑さ対策に関する意見書」などについても原案通り可決しました。



## 戸田安彦事務所

〒059-0904 白老郡白老町東町2丁目1-1  
TEL:0144-82-8595 FAX:0144-82-8596  
メール/info@toda-yasuhiko.jp

# 道議会一般質問に初登壇

## 胆振東部地震からの復興や観光の再構築など知事に問う

令和5年9月26日、第3回定例道議会において道議に就任して初めての一般質問に臨みました。胆振東部地震からの復興や観光立国北海道の再構築をはじめ、胆振地域はもとより北海道の未来にとって重要な課題について、鈴木知事ら理事者に今後の取り組みをただし、対応強化を促しました。



### 胆振東部地震から5年、復旧・復興について

**戸田** 胆振東部地震から5年を迎え、インフラ復旧は進んでいるが、被災者の心のケアや地域コミュニティの再生が課題。この間の総括と今後の取り組みを伺う。

**知事** 恒久的な住まいへの住み替えやインフラ、農地の復旧がおおむね完了し、未来に向けた取り組みも展開している。一方、森林再生や心のケアなど継続して取り組むべき課題もある。今後とも国や関係機関と連携を図り、被災地の方々が安心して暮らせるよう取り組む。

### 観光立国北海道の再構築

**戸田** 昨年度第4四半期の訪日外国人来道者数は、コロナ前の令和元年度の約9割まで回復した。今後はコロナ禍を経て変化した旅行者ニーズなども踏まえ、新たなインバウンドの取り組みを進める必要がある。観光立国北海道の再構築に向けた今後の取り組みについて伺う。

**知事** 「ワイン」や「癒やし」、「縄文文化」やウポポイなどの「アイヌ文化」といった本道の強みに着目し、道内各地の観光資源を効果的に組み合わせ付加価値の高い観光地づくりを進めるほか、アドベンチャートラベルの普及拡大に向けた取り組み、マーケティングに基づく戦略的なプロモーションを一体的に展開するなど、市町村や事業者と一層の連携を図っていく。

### 子ども応援社会の実現

**戸田** 国は4月1日、子ども政策の司令塔となる「こども家庭庁」を発足。道は6月30日に鈴木知事を本部長とする「北海道こども政策推進本部」を立ち上げ、鈴木道政2期目の看板政策「子ども応援社会の実現」を推進している。今後、若い世代が結婚や子どもを産み育てることに希望を持つことができ、子育てしやすい社会環境をつくる必要がある。今後の道の取り組みや考えを伺う。

**理事者** 今後とも、国の「こども大綱」の検討状況などを注視しながら、独自の取り組みを進める市町村や関係機関と連携を図り、地域のニーズに即した子育て支援の施策を充実させ、子ども応援社会の実現に向けた取り組みを進めていく。



### 北海道の空き家対策

**戸田** 空き家対策とその利活用は地域の重要課題。対策の主体となる市町村の現場では、人員・予算や専門的知識の不足など対応に苦慮している。道の役割はますます重要になると考えるが、今後どのように取り組んでいく考えか。

**建築企画監** 本年6月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が改正され、道では今年度中に取り組み方針を見直すとともに、手引きの改訂や新制度に関する研修会の開催などの市町村支援に取り組むなど、空き家対策をさらに強化し、道民が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていく。

### その他の項目

- ・北海道の文化(アイヌ文化、むかわ竜)
- ・ほっかいどう応援団会議
- ・再犯防止の推進

### 文教委員会

#### 学校への早期の空調設備設置促す

私は所属する文教委員会でも、子どもたちの学びの環境を整備していく上での課題について活発に議論しています。児童生徒の体力や学力の向上、学校教育におけるICTの推進、英語教育の充実、今夏の猛暑を踏まえた学校への一日も早い空調設備設置について、道の積極的な対応と市町村との連携強化を促しました。



### 団体政策懇談会を開催

#### 来年度予算への反映目指す

道議会自民党・道民会議が毎年開催している「団体政策懇談会」が、10月12、13、17日の3日間にわたり開催され、41にのぼる友好団体からご意見や要望を聞き取りました。私は全日程に参加し、農林水産業などの一次産業、医療・福祉、建築、運輸、教育をはじめ幅広い業界団体の皆さまと意見を交わしました。現場からの切実な要望を、今後の補正予算や来年度予算に反映させるため、引き続き全力で取り組んでまいります。

